



滝野東小学校だより

令和2年1月30日 文責 神田

精一杯頑張ったマラソン大会～ご声援ありがとうございました～

1月15日(水)に校内マラソン大会を実施しました。当日の朝、立ち番をしながら子どもの様子を見てみると、いつもの表情とは違って心なしか緊張した面持ちでした。しかし、スタート前には、前日に試走していたこともあって、目標とするタイムや順位を達成するぞという強い気持ちが子どもの表情から感じられました。その気持ちを後押ししていただいたのが、保護者や地域の方々の応援です。運動場だけでなく沿道からも温かい声援を送って下さり、ありがとうございました。皆様からいただいた温かい声援のおかげで、落ちていたペースをまた上げることができた子どもが大勢いました。苦しい表情の中にも最後まであきらめずに走ろうと頑張る子どもの姿から、元気をもらえました。また、何よりうれしかったのは、最後の子どもがゴールするまで、応援が途切れずに続いたことです。友だちを一生懸命応援する姿からも子どもの心の成長を感じることができました。



走り終えた各学年の子どもたちに、私は、次の言葉でその頑張りを称えました。

低学年・・・「3びきの鬼に勝つ」 中学年・・・「自分に挑戦」 高学年・・・「疾風に勁草を知る」

低学年の子どもには、心の中で「休みたいな」「やめたいな」「歩きたいな」とつぶやく3びきの鬼に打ち勝ってゴールできたことをうんと褒めました。

中学年の子どもには、記録や順位に挑戦することと同じくらい「自分に挑戦する」ことが大切だという話をしました。しんどいことに直面すると、途中であきらめてしまおうとする弱い心が顔を出します。今日のマラソン大会のように自分が持つ弱い心に打ち勝ってこそ成長できるのだと伝えました。

高学年の子どもには、「疾風に勁草を知る」という言葉を例えに引いて、疾風(きつい風)が吹いて初めて勁草(丈夫な草)が分かるように、人もしんどいことに直面して初めてその人の気持ちの強さやねばり強さが分かるものだと言いました。マラソンに限らず日常生活の中でしんどいことはたくさんありますが、そこから逃げずに立ち向かう人になってほしいという願いを伝えました。子どもは、マラソン大会から学んだことを今後の学校生活の中でも生かしてくれることでしょう。

最後に、児童観察係として力を貸していただいたPTAふるさと委員の皆様、子どもの力走する様子を撮影していただいた広報委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

子ども110番の家避難訓練～加東警察にお世話になりました～

1月15日(水)の一斉下校時に、加東警察の方からお声かけしていただいて、子ども110番の家を活用した避難訓練を実施しました。まず、加東警察の田中さんから子ども110番の家の役割についてお話を聞きました。その後、実際の声かけ事案を想定した場面を再現し、その対応方法について丁寧に教えていただきました。



そして、一斉下校では、子どもが声かけ事案に遭遇したときに子ども110番の家を安心して活用できるように、子ども110番の家の方に玄関先に立っていただきました。当日は、防災無線での呼びかけに応じてたくさんの方に協力していただきました。子ども110番の家の皆様ありがとうございました。